

【 果 樹 】

早生ミカンはピーク後半だが、リンゴやいちごの数量が纏まり始め、果実全体量は微増となっている。末端の消費が鈍く、在庫を抱えながらの厳しい販売が続いている。干し柿については、長野県産「市田柿」が販売開始となった。売り場は限定的なため、徐々に相場を下げながら、売り場拡大を優先した販売となる見通し。

<リンゴ>

販売状況は大きく変わらず、在庫を抱えての販売となっている。

「サンふじ 10kg レギュラー」

@特秀 26玉 3,700~3,000円 秀 3,000~2,200円 ○秀 2,000~1,800円 赤秀 1,800~1,500円
@特秀 32玉 3,300~3,000円 秀 2,700~2,300円 ○秀 2,600~1,800円 赤秀 1,800~1,500円

「サンふじ（葉取らず）14玉」

@1番手（天一）3,200円 2番手（紅一）2,800円 3番手（特一）2,000円 4番手（秀一）1,500円

<あんぽ柿>

全体に重たい雰囲気だが、12月に入り売り場拡大の動きも出始める中、産地・品種によっては荷動きも見られる状況。相場は保合の見通し。

@平核無 200g トレー 特秀 2L 380円 ~ 350円 青秀 L・2L 330円

【 野 菜 】

野菜全般に荷動きは非常に重く、特に潤沢入荷となっている葉物類や重量野菜については軟調な販売状況となっている。

月替わりで、気温の低下が見込まれることから、鍋商材等の荷動き改善が期待される。

<いちご>

11月下旬以降、各産地数量が増えてきているが、果実全般的に末端消費が鈍いため、相場を弱めながら荷動き改善に向けた販売となっている。相場展開は保合となる見通し。

@L 600円 ~ 550円 A 460円 ~ 420円

<に ら>

入荷量は横ばいで荷動きも変わらず相場展開は保合の見通し。

@AL 85円 ~ 75円

<春 菊>

相場は保合だが、末端の荷動きは鈍く軟調な販売が続いている。

@単価：A 70円 ~ 60円